

圖版IV

雑誌名	東北帝國大學理學部地質學古生物學教室研究邦文報告
巻	37
発行年	1942-04-30
URL	http://hdl.handle.net/10097/00110830

圖 版 IV

- (1) Boemi 中流部 (Papaja 川の合流點より稍々下流) (Boemi 溪谷第 V 區). 石灰岩の峡谷は稍々開ける. 背後の山は石灰岩山である. この山を川が横斷する處に於いて再び峡谷を示す. 流木 (鐵木) 横はる.
- (2) Boemi 川下流部 (Tanjonpanjan の稍々上流) (Boemi 溪谷第 VI 區). 著しく曲流す. 袂狀部に段丘を残す (家のある面), 水勢緩, 自由にカヌ上下す.
- (3) Boemi 川下流部 (Sambiki 近傍, 河口に近し) (Boemi 溪谷第 VI 區). 河幅著しく大となり河岸に紅樹 (m), ニツパ椰子 (n) を見る.
- (4) 河岸段丘層 (Oetara 川河岸, Patima 近傍) a~砂質粘土 (Nabire 層), b~礫, c~粘土, d~礫.